

# 無線環境を用いた過疎地域における デジタルデバイドの解消 —大学知を地域にどのように反映させるのか—

川路崇博・二宮雅也

---

## ●要約

昨今の経済状況を鑑みると、地方への大きな公共的資本投下は見込めない。その条件の下、過疎地域に住む生活者の生活の支援・維持をおこなうためには、これまでの公共的資本投下による地域振興ではない手法の検討が必要である。稚内北星学園大学が設置されている稚内市でも過疎地域が持つ問題が存在しており、特に生活を送る上での情報取得自体に課題がある。

本研究では情報取得方法として、本来サービス提供エリア外にある放送局の地上デジタルテレビ放送の受信を一つのケースとして試行した。民放地上デジタルテレビ放送の受信を試み、大きな投資を必要としない情報取得手段を提案することにより、デジタルデバイド解消の一手法提案をおこなった。また、今後の過疎地域におけるデジタルデバイドの解消の方向性のあり方について論じた。

## ●キーワード

過疎地域

デジタルデバイドの解消

地上デジタルテレビ放送

公共投資

大学の知